

RED TRAIN

50系
客車



KATO
PRECISION RAILROAD MODELS

普通列車として全国各地で活躍した、50系客車が待望の再生産。

50系は昭和53年(1978)に登場した一般形客車です。主に地方都市圏で旧形客車により運行されていた客車列車を置き換えた、客車輸送近代化の立役者です。従来のイメージを覆す赤2号の塗色から「レッドトレイン」の愛称で呼ばれました。自動扉、ユニット窓にセミクロスシートを備えた近代的な車体を持ち、混雑緩和や安全性向上に寄与し、地方線区において全国的に活躍しました。



製品のポイント

- 車番、検査表記を印刷済
- オハフ50は両エンドのテールライトが点灯
- 5両セット、単品を設定。短編成から長編成までOK。

オハフ50 (テールライト点灯車)
連結面の各種表記と引戸レールを
印刷で精密に表現。



「50系客車グレードアップパーツ」(品番11-551)も発売。
製品の屋根板(ベンチレーター一体)と交換することで、
ベンチレーター別体化による精密化を図ることができます。

製品状態
(ベンチレーター一体)



パーツ交換後
(ベンチレーター別体化)

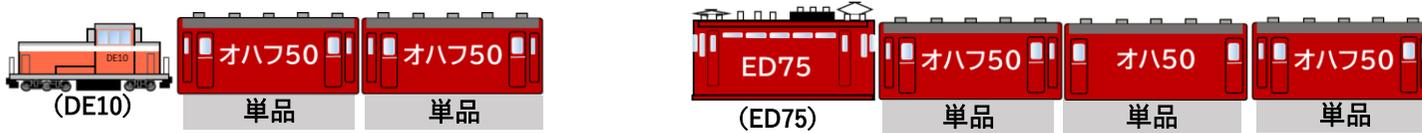
より精密な屋根上に!

リアルな連結面と連結間隔を実現する、
「50系客車用伸縮カプラーセット」(品番28-234)
もホビーセンターカトーより発売致します。



N50系客車 編成例 (主に国鉄時代に見られた編成)

●小型レイアウト向け編成



●磐越西線



●山陰本線



●草津線



●東北本線



●予讃本線



●筑豊本線



●日豊本線



●50系客車 基本編成例



●5両基本セット 2セット使用